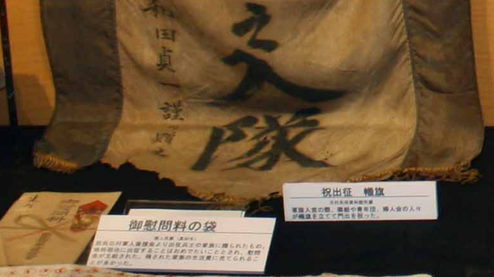
祝
中村陸軍君ノ入隊

戦没者の葬送　椎田国民学校（現椎田小）校庭にて

祭壇中央に陸軍服姿の人物遺影が見える。提灯には「椎田町」とあり、中央正面の額には「嗚呼忠烈（ああ！ちゅうれつ）」の文字。

水雷艇「友鶴」転覆事故と築上町出身兵士

安廣六郎　海軍特務少尉

友鶴は、昭和９年（1934）３月12日、佐世保港外で夜間演習中に転覆沈没し、乗員113名のうち100名が死亡・行方不明となった。昭和５年（1930）のロンドン海軍軍縮条約で各国の保有軍艦数が制限され、条約対象外の小型艇の友鶴に基準以上に重武装したため転覆したといわれる。

乗員で海軍特務少尉、安廣六郎は下城井村上香楽（築上町）で生まれ、明治45年（1912）佐世保海兵団に入り、昭和８年（1933）友鶴の乗員となり、この転覆事故で死亡した。